

<資料>

新産地報告 (2)

上野 勝典* 上野由貴枝*

New localities of some plants in Nagano Prefecture II

Katsunori UENO and Yukie UENO

長野県産の植物、特にシダ植物以外の維管束植物の分布上興味深い産地が判明した植物について本誌第37号に報告したが(上野・上野 2004)、その後新たに見出した植物をここに報告する。

ヒダカエンレイソウ (ユリ科)

Trillium × *miyabeianum*

2004年4月17日 塩尻市釜の沢

釜の沢の溪流のすぐそばに、4株のヒダカエンレイソウを見いだした。2株ずつが数mほど離れて自生していた。花弁と萼片とがあり、花弁はエンレイソウよりも鮮やかな赤い色で、花被片の先が尖らず、形もすべて整っていた。ヒダカエンレイソウはエンレイソウとミヤマエンレイソウの雑種とされ、長野県では山ノ内町と岡谷市で確認されていて(清水 1997)、また稀少雑種に分類されている(長野県 2002)。近くの岩場には県中部では少ないイワウチワの群落も見られ、シダ植物の種類も多いなど、自然が多く残された場所である。

スミレサイシン (スミレ科) *Viola vaginata*

2004年4月25日 塩尻市上小曾部小曾部川上流 1020m SHIN63378

小曾部川支流沿い約50mに沿って斜面の幅数mで、スミレサイシンがヤマジャクヤクなどとともに多数自生しているのを見つけた。スミレサイシンは日本海側のスミレでこれまで塩尻市では記録が無かった(塩尻市誌編集委員会 1991)。

ケヤマウツボ (ハマウツボ科)

* 上野勝典・上野由貴枝 〒399-0011 松本市寿北2-2-38

Lathraea japonica var. *miqueliana*

2004年5月3日 塩尻市小曾部小曾部川上流 1040m

小曾部川の溪流脇に一株だけが生育しているのを見つけた。花全体に毛が多いことからケヤマウツボとした。長野県では絶滅危惧ⅠB類に分類される貴重な植物である(長野県 2002)。

アズマレイジンソウ (キンボウゲ科)

Aconitum plerocaulum

2004年9月12日 塩尻市下西条 1000m

塩尻市周辺ではレイジンソウとアズマレイジンソウが分布しており、茎の毛が鉤状に曲がっていることからアズマレイジンソウとした。紅葉樹林下の比較的暗い斜面に100m四方にわたって多数生育していた。

キンラン (ラン科) *Cephalanthera falcata* (写真1)

2004年6月12日 大鹿村小渋川

民家近くのスギ林下に一株だけ有り、開花していた。キンランは長野県では絶滅危惧ⅠB類に分類されるとともに(長野県 2002)、全国的にも環境庁絶滅危惧Ⅱ類に分類される貴重なランである(矢原 2003)。

トラキチラン (ラン科)

Epipogium ephyllum (写真2)

2004年8月29日 大鹿村豊口山

豊口山登山道のカラマツ林下に、花茎が2本とすでに枯れてしまった花茎2本が隣接して見られた。トラキチランは腐生植物で、長野県では絶滅危惧ⅠA類に分類されるとともに(長野県 2002)、全国的にも分布が限定され環境庁絶滅危惧ⅡB類に分類される貴重なランである(矢原 2003)。



写真1 キンラン



写真2 トラキチラン

謝 辞

観察に一部同行いただいた、加藤範夫氏、田尻正宏氏、田尻祝氏、永田芳男氏、総谷文清氏、小山泰弘氏、吉田豊氏に感謝の意を表します。また、本報告の作成にあたり、貴重な助言をいただいた小山泰弘氏ならびに大塚孝一氏には、重ねて心より感謝いたします。

引用文献

上野勝典・上野由貴枝(2004)新産地報告. 長野県植物研究会誌, 37: 49-50.

塩尻市誌編集委員会(1991)塩尻市誌. 第一巻 自然. 清水建美 監(1997)長野県植物誌. 信濃毎日新聞社, 長野.

長野県(2002)長野県版レッドデータブック. 維管束植物編.

矢原徹一 監(2003)絶滅危惧植物図鑑レッドデータプランツ. 山と溪谷社.